

平素は、弊社商品にお取り組み頂き、まことに、ありがとうございます。月間通信5月号をお送り致しました。何卒、よろしくお願い致します。



アヤメが咲いた。

この花には特別な思い出があり、多分私が初めて名前を覚えた花だと思う。3月生まれの2歳上の兄が誕生日を祝ってもらっている様子を見て、自分の誕生日は『いつなの』と聞いた。すると母は私を庭の一隅に連れて行き、『あそこに植わっている花が、青い花を開かせる時、あなたの誕生日よ』と教えてくれた、その花になる。それで小豆島の家の庭をいじり始めた一昨年、この球根を20個買って此処に植えた。

次の週に来てみると、ほとんどをイノシシに食べられていてガッカリしたが、残っていた4個ほどの球根に土を被せた。おかげで芽を出しては来たが、昨年は咲かなかった。今年の4月の初め何気に目をやると蕾を発見した。『これは咲くかも知れない』と未だ疑いながら見ていた。21日になって来てみると、画像の様に咲いていた。へへへ……。自分の誕生日は5月21日なので、ひと月も早い。生まれた彦根はやっぱり寒いのか。

そろそろ Gold の買い時かなと思っている。まったくアヤメの花が咲くのを楽しみにしているのと同じ感覚で、この情報の真否を楽しみにしている。そもそも初めて金本位制に戻ると聞いたのは、2015年ではなかったか。あの頃の金価格は覚えていないが10倍になると聞いていた。不労所得という言葉が当てはまるかどうか分からないが、宝くじよりマシだろうと思っていた。でも、この情報は自分の中で大きなテーマになっていたことは事実だ。つまり他人事では無かった。

この会社を始める頃、35年も前の話だが、気に入らないこの世のシステムを何とかしたいと思いながら生きていた。人としては真面目な方なので何とかしたいとの想いはあっても、勤勉な人間ではないので、ついつい目先の『楽しさ』に自分を奪われて、次々と自分を楽しませることと出会い、それを追求する事が勝っていた。

何も出来ぬまま時が経ち、今に至ってしまい、この先も、亦大したことは出来そうにも無い。それでもこの楽しいと感じる事が少し変わって来た。人間ってのは物理的にだけではなく、気持ち的にもまったく上手く出来ていると思う。何ら自分に強制することもなく、自然に任せているだけで、身体が弱って来ると今まで自分を楽しませてくれたものに対して返すことを、楽しく感じるようになって来た。ひよっとすると『身勝手』というのは、そんなに否定的な事ではないのかも知れない。

2019年だったか、薬膳の勉強会で北京に行くから、という誘いがあった。紫禁城見たさにホイホイと着いて行ったが、その切っ掛けで『白雲観』というところに行けた。土間で老師を訪ねる孔子が挨拶しているイラストが印象的だった。案内してくれた漢方医のおっさんが『老師は、ひとの為に役立つのにお金が必要だったら、しっかり稼ぎなさい』と言っていたらしい』と説明して、その中のひとつの社にお参りしていた。そこには左の柱に

『〇〇賽取〇方〇忝救人心存慈』と書いてあった。〇の部分の漢字は読めないし書けない。でも、多分解説通りの意味が書いてあるのだろう。もし来月にこの気分が残っていたらその画像を貼り付けたいが、だからと言う訳ではなく、儲ける事にした。自分の為ならそんな動機は高まらないが、抽象的な事ばかりでは詰まらないので、それなら というのはある。孔子にそんな発想は無いだろうが、老師らしいといえば、らしい。

で、数年前には10倍ではなく、6倍程度という見通しに変わった。この情報に基づきたかったがそんな余剰の資金がある訳では無いので、自分の解釈の土壇場だいいと思い、やり過ごして来た。直近では1オンス2000ドルが5000ドルになるだろうと緩和されて来た。そもそも1971年のニクソンショック時の金価格は35ドルに固定されていた。それが2000ドルなら57倍になっている。逆にドルの価値は57分の1に下落したともとれるが、これは金に対してのみ。元に戻して考えてみると、この52年間で経済は57倍に膨らんだという事にもなり、当時月給が10万円であれば570万円になっていないと釣り合わない事になる。せいぜい50万円から100万円程度の話で、なっていないなら、その差額×世界労働人口数が、この制度を作った『資本』の懐に転がり込んだと思われる。

まったく上手い仕組みを作るものだ。そのように、資本というのは増幅する遺伝子を持っているのだろう。単に増幅するだけではなく、この増幅に効率が加わるとどうなるだろう。つまり more more という訳だ。人の欲には限りが無いので、資本の欲にも限りがない。ということ自分なりにその資本になったつもりで、もっと、もっと、と考えると、この先社会がどうなっていくのかが、ある程度分かる気がする。ひとつのヒントは、この仕組みは表から見て、見えにくい方が良くと思える。そうすると見えづらくするには、ちょうどコロナが生命を担保に取ったように、誰が考えても『その通りだ』『その事には代えられない』と思えるようにすることだから、そこを疑ってみると面白い。生命の次に大事にされているのが『人権』だ。その人権を代表する制度が民主主義に

あたる。落ち着いて考えてみると、民主主義ほど怪しい概念は無い。人権は確かに大切だが、その制度が民主主義なのかどうか極めて怪しく、怪しさは、誰もこの世が民主的に運営されていると思っていないのに、その御旗を振りかざされると、何となく頷いてしまうところにある。この辺の共同幻想の作り出し方が実に上手い。

誰も、米国が日本の安全を守ってくれるとは思っていない。先日のように北海道の米国に所縁がない地にミサイルが落ちて米軍は動かず、いつだったかの地震の後にフランスが売り込みに来たように、軍備を売り込みに来るだけなのではないか。にもかかわらず集団になると、そのような幻想がまかり通っている。

Excel で『こんな関数があれば』と自分が思う。そうすると調べれば必ずマイクロソフトは用意をしている。自分が思うことなど、他の誰かが既に考えている法則に準じれば、もうこれ以上このシステムで資本は効率よく増殖する事が出来なくて、そろそろシステムの入替え時期が訪れていると想像する方が現実的に思う。資本の集金システムが地球上の各国家だとすると、各国家がそれぞれ不良債権化しそうな国債を抱えている今が、臨界点に達していると思うと、その臨界点を無くしてしまえば新しいシステムを使う事が出来る。

例えば我が国は政府の借金を政府の子会社である日銀がすべて賄っていて、破綻する事のない事実の信用を保持して、円は崩壊する事がない。言っておくがこれは民主主義制度ではない。明らかに社会主義制度の範疇に入る。その様に見ると、世界が左翼がかって来ている様子にも合点が行く。つまり世界国家なるものは社会主義下でしか成立しない。多分そうなるだろう。

2000ドルが5000ドル、即ち1億円が1億5千万円増え、その内3分の1が国家の取り分なら、約1億円手元に残る計算になる。それなら、ひとの噂を充てにするより、実業で稼いだ方が早いような気もする。